

第127回 日本小児科学会甲信地方会 プログラム

日 時：令和3年11月7日（日）12:00～17:07

開催方法：サテライト会場とリモート参加のハイブリッド開催

1. サテライト会場：①山梨県会場（山梨大学 医学部 臨床大講堂、小講堂）
②長野県会場（信州大学 医学部 臨床棟2階 第一臨床講堂）
2. リモート参加：ZOOM利用
事前の申し込み（10月24日（日）締め切り）と会費振込が必要

会 長：山梨大学医学部小児科 犬飼岳史

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110 (TEL 055-273-9606)

年会費：会員2,000円 初期研修医無料 非会員参加費2,000円

●会場案内●

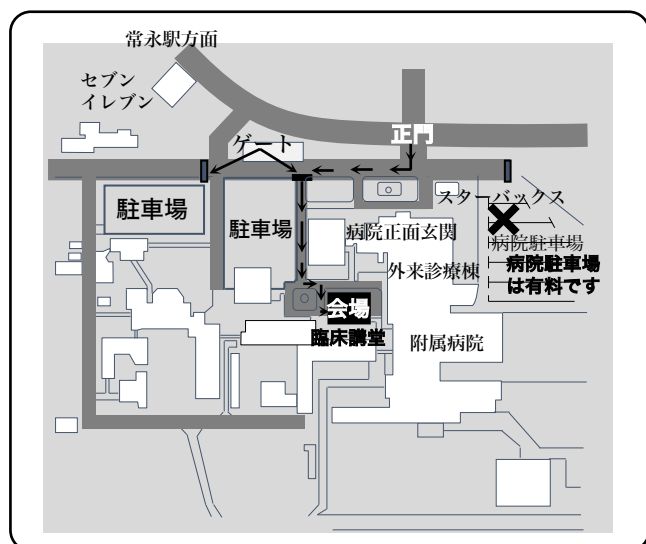
【山梨 サテライト会場】

山梨大学 医学部 臨床大講堂、小講堂
〒409-3898 山梨県中央市下河東1110
(TEL055-273-1111)

【長野 サテライト会場】

信州大学 医学部 臨床棟2階 第一臨床講堂
〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
(TEL0263-37-2642)

※病院正面玄関からは入らないでください



附属病院正面玄関からの入場は不可です。

お車をご利用の方へ

病院駐車場をご利用ください。入場の際に発券された駐車券を、受付までお持ちください。駐車料金が200円になる割引券をお渡します。

ベビーカー等ご使用の方へ

臨床棟北西に、1回入口に通じるスロープがありますので、ご利用ください。

臨床棟西側1回入口を入りますと、すぐにエレベーターがあります。

学会受付は2回東側です（エレベーターのある反対側）。

○参加者の方へ○

参加者の方は事前申し込みが必要です。締め切り：令和3年11月4日（木）必着

お申し込み方法：Eメールまたは往復はがき（9月に送付済）

Eメールでお申込みの方は下記についてご記載の上、事務局までご連絡ください。

- ・送信タイトル：第127回甲信地方会申し込み
- ・内容：1. 氏名、2. 所属、3. 参加時のメールアドレス、4. 参加方法の希望（会場参加もしくはリモート参加のどちらか）

◆参加申込先◆

第127回日本小児科学会甲信地方会事務局

山梨大学医学部小児科 事務担当：河西 (E-mail: kchisato@yamanashi.ac.jp)

本地方会は山梨・長野各県のサテライト会場とLive配信によるリモート参加のハイブリッド形式での開催を予定しておりますが、今後のCOVID-19の感染拡大状況によっては、急遽サテライト会場の使用が不可能となり、完全web開催とせざるを得ない事態も想定されます。完全web開催となった場合には、参加者の皆様からお預かりしたメールアドレスへご連絡させていただく予定ですが、開催方法については随時、山梨大学医学部小児科学教室のホームページ「教室お知らせ」https://yuhp-ped.jp/office_information/に更新いたしますので、ご確認のほど、よろしくお願い申し上げます。

【サテライト会場参加者の方】

- 1) 会場参加のお申込みをされた方は、所属されている各県のサテライト会場にお越しください。
- 2) 当日会場受付にて年会費2,000円をお支払いください。前年度までに未納がある方には未納分のお支払いをお願いさせていただきます。受付付近の密の回避の為、釣銭の要らぬようにご準備ください。
- 3) 本地方会の参加による専門医更新「iv学術業績・診療以外の活動実績」単位数は1単位です。
- 4) 特別講演への出席による専門医更新「iii小児科領域講習」単位数は1単位です。参加受付時にお渡しする「特別講演単位証引換券」に必要事項をご記入のうえ、特別講演終了後に会場出口から退出いただき、単位証とお引き換えください。当日は引換券ご記入のため筆記用具をご持参ください。講演終了前のご退出時には参加証の発行はできかねますのでご了承ください。
- 5) 各会場で講演会の映像をスクリーン画面でご視聴していただきます。
※ 会場内からのリモート参加は不可です。
- 6) COVID-19感染対策の徹底をお願いします。参加者は必ずマスク着用でお越しください。当日体調の優れない方や、発熱等の症状のある方、濃厚接触者の方のご参加はお控えください。また、各会場におけるCOVID-19感染対策にご協力ください。会場内では密を避け、飲食についても会場の指示に従ってください。今回は、会場での飲み物およびお弁当の用意はございません。

【リモート参加の方】

- 1) リモート参加申し込み後、受付完了とお振込金額（年会費 2,000 円＋前年度までの未納分）をメール返信します。1週間以上返信がない場合はお問い合わせください。
- 2) 年会費は下記の口座にお振込ください。お振込者のお名前は、会員名簿に記載されているお名前としてください。恐れ入りますが、振込手数料は会員様のご負担でお願いいたします。

◆振込口座◆

口座名：日本小児科学会甲信地方会

銀行名：山梨中央銀行 医大前支店

口座番号：普通 420277

- 3) ZOOM開催URLは申込締切り後にメール送信します。11月4日(木)までに届かない場合は山梨大事務局までお問い合わせください。特別講演と学術集会のURLは異なりますので、お時間になりましたらそれぞれのURLにアクセスしてください。
- 4) リモート参加での、専門医制度更新の「iv学術業績・診療以外の活動実績」の参加単位は認められません。
- 5) 特別講演リモート参加による専門医制度更新の「iii小児科領域講習」単位数は1単位です。以下条件を満たした方に後日単位証を郵送します。

- ① 1時間以上の講演参加(入退室ログ確認)
- ② 特別講演単位取得問題 設問5題5択正答率8割以上である
- ③ 会費のお振込み

※昨年と同様の試みではありますが、トラブル発生も予想されます。確実に単位を取得されたい方は、サテライト会場でのご参加をお勧めします。ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

- 6) リモート参加のための手順は、下記URLを参照ください。リモート参加に必要な機器、インターネット接続、アプリのインストールはご自身でご準備ください。

<https://explore.zoom.us/ja/products/meetings/>

- 7) 学会参加中は音声・カメラを必ずオフでご参加ください。参加の際には、“詳細”から“名前の変更”で、お名前(フルネーム)とご所属を入力してください。
- 8) 質疑応答に際しては、ご質問がある場合にはチャットでお名前とご所属を入力ください。司会者に指名された先生はミュートを解除し、ビデオをオンにしてご質問ください。
- 10) 講演内容の録画はお控えください。

○発表者の方へ○

- 1) 発表時間は5分、質疑応答3分です。時間厳守でお願いします。
- 2) ハイブリッド開催のスムーズな運営のため、ご自身のパソコンによる発表はご遠慮ください。
- 3) ご所属されている各県のサテライト会場に来場してください。ご発表は各サテライト会場で準備された発表者会場にて行なっていただきます。
- 4) 発表の30分前までに受付をお済ませいただき、各会場で準備された次演者席にてお待ちください。
- 5) スライドの動作に関して事前チェックをしますので、11月2日(火曜日)17時までに発表データを下記の参加会場事務局にお送りください。ファイル名は「演題番号+発表者名」としてしてください。

参加会場	山梨県会場 (山梨大学)	長野県会場 (信州大学)
送付先	日本小児科学会山梨地方会事務局	日本小児科学会長野地方会事務局
メール送付	yamanashi-ped@hotmail.com 及び CCで kchisato@yamanashi.ac.jp	ynaka@shinshu-u.ac.jp 及び CCで miya-y@shinshu-u.ac.jp
CD-R等の記憶媒体で郵送希望の場合	〒409-3898 山梨県中央市下河東1110 山梨大学医学部小児科学講座 日本小児科学会山梨地方会事務局 Tel:055-273-9606 送料はご負担ください 11/2 (火) 必着	〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 信州大学医学部小児医学教室 日本小児科学会長野地方会事務局 Tel:0263-37-2642 送料はご負担ください 11/2 (火) 必着
	Windows10版Power Point2016によるPCプレゼンテーションとなります。Power Point2019およびMacで作成した場合には、フォントを含めた互換性にご配慮ください。	Windows版PowerPointによるプレゼンテーションのみです。PowerPointファイル2013以降で作成ください。Macで作成した場合には、フォントを含めた互換性にご配慮ください。

- 6) 質疑応答は質問者がチャットでお名前とご所属を入力し、司会者が質問者を指名し、発表者は音声で質問に答えていただきます。
- 7) ヘッドセットのご利用を希望される場合には、あらかじめご自身のヘッドセットをご持参ください。
- 8) 発表者会場でもマスクをご着用ください。
- 9) 学会当日までに、二次抄録（演題、演者、所属、本文を併せて全角400-600字以内）をWordなどの電子ファイルでご提出ください。ファイル名は「演題番号+発表者名」としてください。

◆二次抄録提出先◆

第127回日本小児科学会甲信地方会事務局 yamanashi-ped@hotmail.com

及び CCでkchisato@yamanashi.ac.jp

○一般演題の司会者の先生へ○

- 1) 所属されている各県のサテライト会場に来場してください。
- 2) 発表の30分前までに受付をお済ませいただき、各会場で準備された次司会者席にてお待ちください。各サテライト会場で準備された発表者会場にてご司会いただきます。
- 3) 発表時間は5分、質疑応答3分です。
- 4) 質疑応答に際しては、質問者はチャットでお名前とご所属を入力されますので、質問者をご指名いただき、音声にて討論していただきます。

○評議員の先生へ○

- 1) 評議員会はサテライト会場とリモート参加にて11月7日12時～12時30分に行います。
- 2) 評議員会サテライト会場：山梨県会場（山梨大学 医学部 臨床小講堂）
長野県会場（信州大学 医学部 臨床棟2階 小児科図書室）
- 3) リモート参加の先生は、事前にメールしてあります評議員会URLからご参加ください。

○プログラム概要○

12:00～12:30 評議員会
13:00～14:00 特別講演
14:20～14:30 総会
14:30～17:07 一般演題

リモート参加の先生へ

入退室の確認のため、評議員会URL、特別講演URL、
学術集会（総会・一般演題）URLは異なりますのでご注意ください。

【13:00~14:00】

座長 山梨大学小児科 教授 犬飼岳史

特別講演

「アレルギーの時間医学」

山梨大学医学部免疫学講座 教授

中尾篤人 先生

一般演題

セッション1【14:30~15:02】

座長 信州大学医学部小児医学教室 師川紘一

1. 発熱なく急速に内頸動脈が閉塞した高安動脈炎の1例

山梨大学医学部小児科¹⁾、山梨厚生病院小児科²⁾

○小林杏奈¹⁾、中澤瑞葉¹⁾、金井宏明¹⁾、後藤美和¹⁾、小林浩司²⁾、沢登恵美¹⁾、犬飼岳史¹⁾

13歳女児。断続的な右頸部痛や腫脹、圧痛のため受診。発熱や倦怠感などの全身症状に乏しく、炎症反応上昇は軽度であるにも関わらず、数週間で右内頸動脈が完全閉塞した。数か月後に再燃し右総頸動脈壁肥厚を認めた。確定診断や治療開始時期判断に難渋した。

2. 若年性皮膚筋炎（JDM）の1男児例

荊崎市立病院小児科¹⁾、横浜市立大学小児科²⁾

○齋藤衣子¹⁾、藤岡かおる¹⁾、溝呂木園子¹⁾、野澤智²⁾、東田耕輔¹⁾

繰り返す発熱、関節痛を主訴に近医から紹介入院した3歳男児。入院時には関節痛は認めなかったが、頬部の皮疹と手掌の水疱疹を認めた。入院後に膝関節、足背に内出血を伴う赤色紅斑の出現・消退を繰り返した。抗MDA5抗体陽性が判明しJDMと考えられた。

3. 当院で経験したシトリン欠損症の3例

飯田市立病院小児科¹⁾、信州大学医学部小児医学教室²⁾

○竹内詩緒¹⁾、堀江史俊¹⁾、峰村優¹⁾、塚原孝典¹⁾、嶋田和浩¹⁾、萩元緑朗¹⁾、佐渡智光²⁾、倉沢伸吾²⁾、加藤沢子²⁾、中山佳子²⁾

1例目は4か月男児、乳児健診で体重増加不良と肝腫大、黄疸を指摘された。2例目は3か月男児、灰白色便がみられた。3例目は1か月女児、1か月健診で体重増加不良を指摘された。3例とも新生児マススクリーニング検査は正常だが、精査にて診断に至った。

4. 発熱を契機に診断された先天性腎性尿崩症の2か月男児例

大町総合病院小児科¹⁾、市立甲府病院小児科²⁾、山梨大学医学部小児科³⁾

○小田切祐一¹⁾、中西太²⁾、古本雅宏²⁾、伯耆原祥²⁾、青山香喜²⁾、沢登恵美³⁾

生後2か月の男児。発熱を主訴に受診した。感染兆候は無かったが高ナトリウム血症と希釈尿を認め、各種精査により腎性尿崩症を強く疑う結果であった。サイアザイド系利尿薬と塩分制限で高ナトリウム血症は改善した。今後遺伝子検査を予定している。

5. 食道異物により特徴的な嘔吐を呈した4歳ダウン症男児例

まつもと医療センター小児科

○横田沙織、上田宗胤、夏目岳典、高山和生、西村貴文、倉田研児、北原正志、岩崎康

飲水は可能だが固形物摂取後にのみ反復する嘔吐を主訴に来院。C T検査で胸部中部食道にウィンナーの断片を認めた。内視鏡で摘出後症状は消失した。食道異物は緊急性が高く、詳細な問診と適切な検査治療が重要である。

6. 桃によるアナフィラキシーの4症例

佐久医療センター小児科

○中沢孝行、重田大輔、依田達也、細谷まち子

桃摂取または摂取後の運動によりアナフィラキシー症状を呈した4症例を経験した。3症例は桃摂取30分～1時間後に皮膚粘膜症状と呼吸器症状を認め、1例はアナフィラキシーショックを認めた。prick-to-prickテストでは、生だけでなく加熱した桃でも陽性だった。

7. 舌根部甲状舌管嚢胞に両側声帯麻痺を合併した一例

山梨大学医学部小児科¹⁾、同 耳鼻咽喉科・頭頸部外科²⁾

○宮本幸奈¹⁾、吉沢雅史¹⁾、須長祐人¹⁾、河野洋介¹⁾、長谷部洋平¹⁾、松岡伴和²⁾、犬飼岳史¹⁾、戸田孝子¹⁾

1か月女児。舌根部甲状舌管嚢胞による上気道狭窄に対し開窓術を施行したが、症状が残存した。精査の結果、先天性と考えられる両側声帯麻痺が判明、気管切開を要した。先天性上気道狭窄では、狭窄部位が複数に及ぶ場合がある事に留意すべきであると考えられた。

8. 生後2か月で発症した急性精巣上体炎の一例

山梨厚生病院小児科¹⁾、同 泌尿器科²⁾、甲府共立病院小児科³⁾

○鎌田康弘¹⁾³⁾、岡藤麻未¹⁾、大城浩子¹⁾、小林浩司¹⁾、池田久剛¹⁾、深沢正成²⁾

生後2か月男児、発熱と両側陰嚢の腫脹を主訴に受診した。カラードプラー超音波検査、尿培養検査より尿路感染症を合併した急性精巣上体炎と診断し、抗菌薬投与で軽快した。小児急性精巣上体炎は乳児期で比較的稀な疾患であり、文献的考察を含め報告する。

9. 当院で経験した急性脊髄疾患の2症例

伊那中央病院小児科¹⁾、長野県立こども病院小児神経科²⁾

○平川高広¹⁾、森谷勇介¹⁾、藤森充帆¹⁾、原洋祐¹⁾、木下達也¹⁾、斎藤真規²⁾、光武鮎²⁾、本林光雄²⁾、稲葉雄二²⁾

症例1は15歳女子。感冒罹患後に尿閉、便秘、下肢のしびれを呈した。脊髄MRI、髄液検査から急性横断性脊髄炎の診断に至った。症例2は7歳男児。下肢運動麻痺・感覚鈍麻、尿閉を呈し、三次病院に搬送された。数日後の脊髄MRIにて脊髄梗塞の診断に至った。

10. ナルコレプシー様症状を呈したギラン・バレー症候群の1例

山梨大学医学部小児科

○犬丸淑樹、西澤琢磨、佐野史和、小林杏奈、矢ヶ崎英晃、加賀佳美、小鹿学、沢登恵美、犬飼岳史
ナルコレプシーは日中の抗いがたい眠気発作を主体とする睡眠障害である。ナルコレプシー発症に自己免疫によるオレキシンの産生不全が関係していると考えられている。今回、ギラン・バレー症候群の患者にナルコレプシー様の症状が見られたため、報告する。

11. 2型糖尿病を発症した中学生患者2例の発達特性

諏訪赤十字病院小児科¹⁾、同 臨床心理科²⁾

○小笠原亨¹⁾、酒井悠祐¹⁾、佐々木拓¹⁾、竹内勇介¹⁾、松浦宏樹¹⁾、吉江春人¹⁾、市川悠²⁾

2型糖尿病で入院した2例に発達検査を実施した。いずれも学校検尿を契機に近医より紹介受診。症例1は13歳男子。BMI 35.3、HbA1c 8.7%。症例2は14歳男子。BMI 30.8、HbA1c 10.1%。WISK-IVでワーキングメモリー、聴覚的処理の低下が際立っていた。

12. 長野県立こども病院におけるマイクロアレイ染色体検査（SNPアレイ）の実施状況

長野県立こども病院遺伝科¹⁾、長野県立こども病院生命科学研究センター²⁾、長野県立こども病院検査科³⁾、長野県立こども病院療育支援部⁴⁾、大阪府立母子医療センター遺伝診療科⁵⁾、信州大学医学部遺伝医学教室⁶⁾、信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター⁷⁾

○武田良淳^{1) 2) 6)}、小林純^{2) 3)}、久保田紀子^{2) 3)}、日高恵以子²⁾、荒川経子⁴⁾、西恵理子⁵⁾、涌井敬子^{3) 6) 7)}、高野亨子^{1) 6) 7)}、古庄知己^{1) 6) 7)}

当院で実施したマイクロアレイ染色体検査（SNPアレイ）の解析状況について報告する。195例中57例で病的コピー数異常、3例で片親性ダイソミーを同定した。診断率は11.8%と従来の報告と同様であり、先天性多発形態異常・発達遅滞症例の診断に有用と考えられた。

13. ジュニアアスリート外来開設とスポーツ関連内科・婦人科疾患に対する小児科的介入について

信州大学医学部小児医学教室

○師田悠、中村千鶴子、元木倫子、中沢洋三

当科では、ジュニアアスリートの健康問題に対し、小児科医の立場から早期に介入することを目的として、2021年8月にジュニアアスリート外来を開設した。当科受診例の診療内容と当科でのこれまでの取り組みについて報告する。

14. 医療的ケア児が通う小・中学校での巡回指導活動

信州大学医学部小児医学教室

○三代澤幸秀

今年9月より医療的ケア児支援法が施行され、学校等での医ケア児受け入れが責務となった。著者は長野県医ケア児等支援スーパーバイザーとしての活動の一環として、長野市の医ケア児の在籍校の巡回指導を行っている。現状を分析し、課題を報告する。

15. 無症候梅毒母体に対するAMPC治療で児の胎児期感染を回避できた一例

山梨大学医学部小児科¹⁾、山梨厚生病院小児科²⁾

○笠井慎¹⁾、宮本幸奈¹⁾、保坂郁実¹⁾、渡邊祐莉子^{1) 2)}、吉沢雅史¹⁾、長谷部洋平¹⁾、渡邊敦¹⁾、赤羽弘資¹⁾、小鹿学¹⁾、合井久美子¹⁾、犬飼岳史¹⁾

母体は妊娠初期の梅毒スクリーニング検査でRPR 32倍、TPHA 40960倍であった。無症候梅毒と診断し、AMPC治療を行いRPR 8倍まで低下した。胎児発育は問題なく、在胎38週4日、経膈分娩で出生した。出生後の児の梅毒IgM抗体は陰性で胎児期感染を回避できた。

16. サイトメガロウイルス感染を契機とした二次性血球貪食性リンパ組織球症と診断した超低出生体重児の1例

山梨県立中央病院総合周産期母子医療センター新生児内科

○篠原珠緒、坂本大聖、桜山友秀、村上寧、前林祐樹、勝又庸行、根本篤、内藤敦

在胎24週5日、体重510g、Apgar score 3/6で出生した男児。日齢70から汎血球減少とフェリチン高値となり、血球貪食性リンパ組織球症と診断し、デキサメサゾンで治療した。経過からサイトメガロウイルス感染が原因と考えられた。

17. 当科で経験した小児COVID-19の臨床的検討と抗体カクテル療法が著効した1例

信州上田医療センター小児科

○師田悠、星山紗也子、大澤由寛、齊間貴大、島崎英

症例は小児肥満症（肥満度65%）の14歳男児。中等症ⅠのCOVID-19に対して、抗体カクテル療法を施行し、速やかに症状が改善した。本例を含め、当科で経験した小児COVID-19について報告する。

18. 当院で経験したCOVID-19小児例のまとめ

山梨県立中央病院小児科¹⁾、子どもの心のクリニック・テラ²⁾

○深尾俊宣¹⁾、原間大輔¹⁾、高田献¹⁾、齋藤朋洋¹⁾、反頭智子^{1) 2)}、星合美奈子¹⁾

当院で入院管理を行ったCOVID-19小児例について、臨床的特徴および経過について検討した。26例中24例が無症状または軽症で、残りの2例は中等症Ⅰと診断した。平均入院期間6.0±3.0日の後に、全例軽快退院または宿泊療養施設へ移動した。

日本小児科学会甲信地方会会則

第1章 総則

- 第1条 本会は日本小児科学会甲信地方会(甲信小児科地方会)と称する
第2条 本会は事務局を会頭の所属する機関に置く。

第2章 目的及び事業

- 第3条 本会は小児科学の進歩をはかり、山梨並びに長野地区(甲信地区)の小児医療等に広く貢献し、また、会員の生涯教育並びに相互の研鑽と親睦をはかることを目的とする。
第4条 本会は第3条の目的を達成するために必要な事業を行う。
1. 学術集会の企画と運営。
2. その他本会の目的を達成するために必要な事業の立案と実施。
第5条 上記の事業の運営は担当会員の持回りとする。

第3章 会員

- 第6条 本会の会員は本会の目的に賛同し、入会を希望する医師とする。
第7条 本会会員は所定の会費を納入しなければならない。
第8条 退会は次の場合とする。
1. 死亡。
2. 会員より退会を希望する旨申し出があった場合。
3. 正当な理由なく会費を3年分以上滞納した場合。
4. 本会の目的に反した場合。
但し、評議員会の議を経て退会が決定されるものとする。

第4章 役員

- 第9条 本会は次の役員を置く。
1. 会頭 1名
2. 副会頭 1名
3. 評議員 若干名
4. 監事 2名
第10条 会頭は第12条の定める評議員会の推薦を受け、総会で承認されるものとする。任期は2年とし、再任を妨げない。会頭は総会及び評議員会を年1回召集し、その議長を務める。
第11条 副会頭は第12条に定める評議員の中から会頭が指名し、会頭に事故あるときには会務を代行する。
第12条 評議員は会員の中から選出され、総会において承認されるものとする。任期は2年とし、再任を妨げない。評議員会は総会で審議する必要な事項について立案する。評議員は満70歳の誕生日をむかえた年度末をもって任期満了し、功労評議員となる。
第13条 監事は本会の会計を監査する。
第14条 本会に名誉会頭を置くことが出来る。名誉会頭は本会の発展に著しく寄与した者を評議員会が推薦し、総会で承認するものとする。

第5章 総会

- 第15条 総会は年1回開催し、本会の目的を達成するために必要な事項について審議し、決定する
第16条 総会での議決は出席者の過半数をもってする。

第6章 会計

- 第17条 本会の事業年度は各年の4月1日から3月31日とし、会計担当評議員は年1回の総会において、監事による会計監査を受けた後、決算及び予算につき報告し、承認を得るものとする。

第7章 会則の変更

- 第18条 会則の変更は総会の出席者の3分の2以上の賛成により成立する。

補則

1. 本会の会則は平成3年度総会（平成3年6月23日）より発効する。
2. 年会費は2,000円とする。
3. 満70歳に達した会員は会費が免除される。
4. 平成20年11月9日改正。
5. 平成21年11月14日改正。

事務局からのご連絡

日頃より当会にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。事務局よりご連絡申し上げます。

- 1 年会費（2,000円）の納付をお願い申し上げます。3年以上滞納の先生には事務局からご連絡させていただきます。
- 2 入会の手続き、住所変更や退会をご希望される場合には、速やかに下記までご連絡ください。
- 3 会則により70歳以上の会員の会費は免除されますので、お申し出ください。
- 4 以下のような場合は、事務局までご連絡ください。
 - ・山梨県、長野県以外の都道府県へ勤務となった場合（退会の手続きをします。）
 - ・留学される場合（休会の手続きをします。）
 - ・勤務先が変更になった場合
- 5 会費振込先など、その他のお問い合わせは下記事務局までお願いいたします。

事務局

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110 山梨大学医学部小児科学講座内

TEL：055-273-9606 FAX：055-273-6745

事務局長 合井 久美子 (e-mail：kgoi@yamanashi.ac.jp)

事務担当 河西 知里 (e-mail：kchisato@yamanashi.ac.jp)